

令和元(2019)年産なしの管理ポイント (第8報)

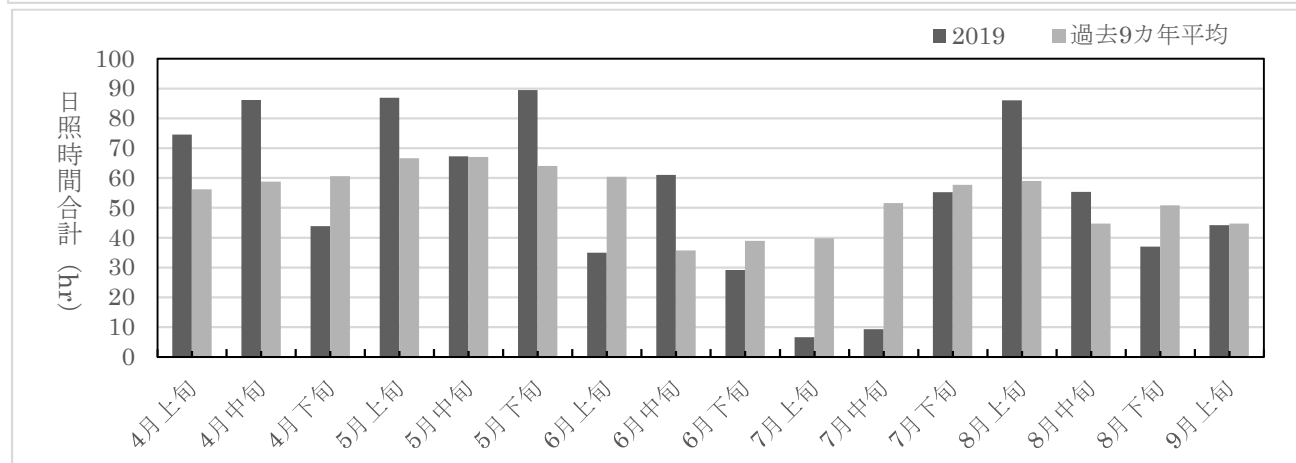
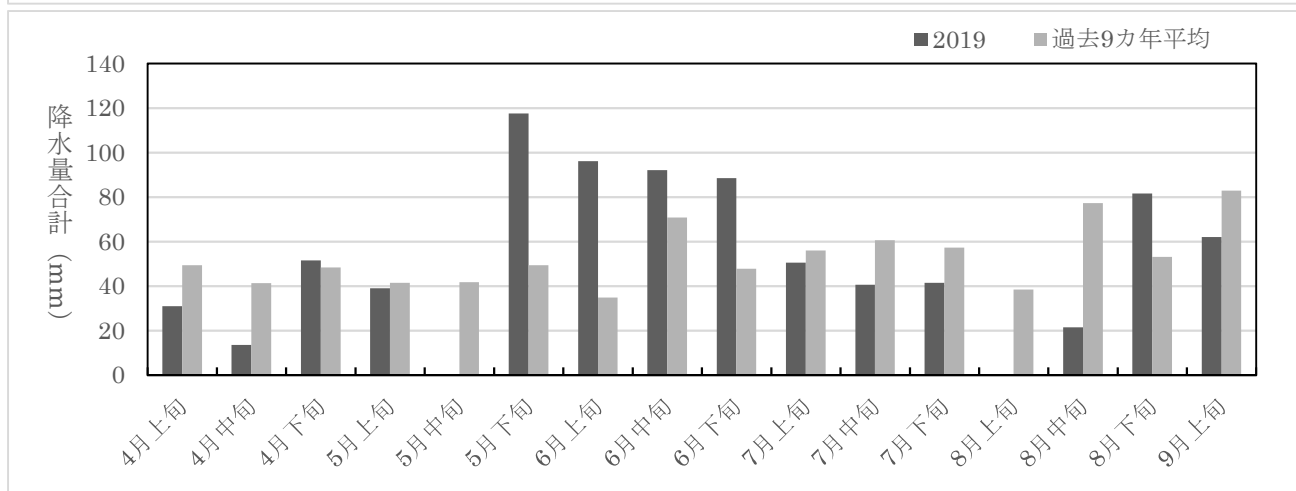
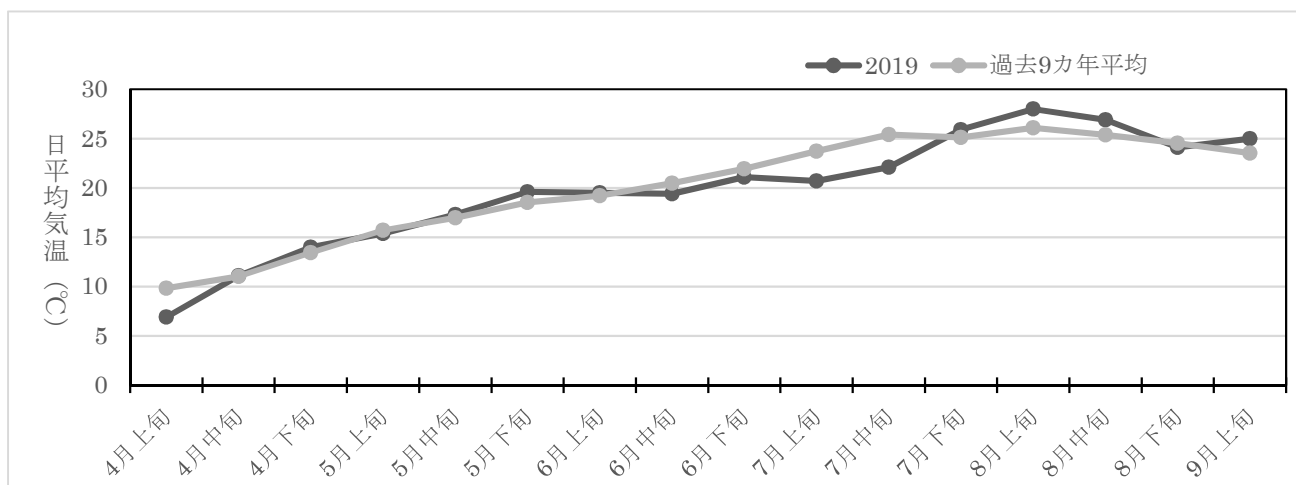
令和元(2019)年9月19日

栃木県塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

☆今回の管理ポイント

- 「あきづき」の収穫
 - ・適期収穫に努める
 - ・果肉障害果の混入防止
- 「にっこり」の品質向上対策
 - ・病害防除の徹底
 - ・補正摘果の実施

1 気象経過 (アメダス：那須烏山)



2 収穫期予測

(1) あきづき

- 管内における収穫期予測は表1のとおり
- 表1は管内平均の予測値なので、各地区の開花盛日との差を考慮する。

表1 「あきづき」の収穫期予測（管内平均）

品種名	開花盛日	収穫始
あきづき	4/24	9/15（満開後143日）

※ 開花盛日は管内平均

※ 茨城県が開発した『「あきづき」の収穫適期判定法』を参考に算出

(2) にっこり

- 農業試験場（宇都宮市）における収穫期予測は表2のとおり
- 表2は宇都宮市における予測値なので、管内各地区の開花盛日との差を考慮する

表2 にっこの収穫期予測

品種名	調査地点	開花盛日		収穫始	収穫盛
にっこり	農業試験場 (宇都宮市)	4/17	予測値	10/13	10/23
			平年比	-3	-6
			前年比	-1	+3

※ 「-」は早い、「+」は遅いの意

【参考】本年の管内各地区における「にっこり」、「あきづき」の開花盛日

○南那須地域

No.	地区名	開花盛日	
		にっこり	あきづき
1	大桶	4/19	4/25
2	興野（北）	4/16	4/24
3	興野（南）	4/19	4/25
4	滝	4/16	4/24
5	中山（上）	4/18	4/25
6	中山（下）	4/19	4/26
7	福岡	4/19	4/26
8	八ヶ代（上）	4/14	4/22
9	八ヶ代（下）	4/19	4/26
10	芳井	4/19	4/24
平均		4/17	4/24

○塩谷地域

No.	地区名	開花盛日	
		にっこり	あきづき
1	台新田	4/16	4/23
2	大谷	4/17	4/24
3	柏崎	4/18	4/27
平均		4/17	4/24

3 当面の管理ポイント

(1) 「あきづき」の収穫

- 満開後日数、果色、食味等を十分に確認しながら適期収穫に努める。
- 日焼け果、果肉障害果、心腐れ果、病害果、虫害果（ヤガ、キクイムシ類、シンクイムシ類）、未熟果等の混入がないよう予備選果を徹底する。
- 部会目揃会で決定した収穫時カラーチャート値、出荷申し合わせ事項等に準じた収穫、選果を行う。
- 果肉障害の確認
 - 8～9月が高温の場合発生が多くなるので、念のため収穫直前にいくつか果実を切って内部を確認する。
 - 「あきづき」では水浸状果肉障害及びコルク状果肉障害が発生する。

- ・水浸状果肉障害は熟度の進んだ果実で発生が多く、窒素の過小が発生を助長する。
- ・コルク状果肉障害は夏期の高温乾燥、過度な果実肥大、摘果の遅れ、強樹勢、窒素過多、果実成熟の遅れ、土壌環境の悪化が発生を助長する。

(2) 「にっこり」の品質向上対策

①病害防除の徹底

輸出や長期貯蔵販売に安定的に供しうる「にっこり」生産を図るため、既存の各部会防除指針に輪紋病対策として下記のとおり防除を追加する。


防除時期	変更内容
豊水収穫後 ※新規追加	表3から1剤を選択し、単用で散布する。
にっこり収穫前	各部会防除指針のとおりQoI剤を散布する。

表3 追加農薬候補

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	使用回数	RACコード (系統)
ネクスターフロアブル	1500倍	収穫前日まで ※	3	7 (SDHI剤)
パレード15フロアブル	2000~3000倍		2	
トップジンM水和剤	1000~1500倍		6 (生育期散布)	1 (MBC殺菌剤)
ベンレート水和剤	2000~3000倍		4 (散布)	

※使用時期が「収穫前日まで」となっている農薬は、散布から24時間以上経過してから収穫する。

※「収穫前日まで使用可能な剤」を使用した場合は、散布後24時間以上経過してから収穫作業に入る。



農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！

身支度も万全に！

- ①農薬容器のラベルをよく読み正しく使う
- ②農薬の飛散防止を徹底する
- ③農薬の使用状況を正確に記帳する

②補正摘果の実施

- ・裂果が収まってから実施する。裂果は満開後130日頃発生する。本年の満開後130日到達日は両部会とも平均で8月25日。
- ・裂果、軸折れ果、変形果、傷病果、小玉果等を中心に摘果し、「最終着果数」にする。
- ・輸出に供することも考慮し、収穫時に棚線や枝に触れないように、果実を配置し、外観品質の向上に努める。

表4 にっこりの最終着果数目安

品 種	着果数 (個)		目標果重 (g/個)	目標収量 (kg/10a)
	10a当たり	樹冠1㎡当たり		
にっこり	6,500	7.2	850	5,000

※着果数は商品化率90%、樹冠面積占有率は90%で算出

(3) 病虫害防除

①黒星病

・罹病果実（症状が重度のもの）は、園外に持ち出し、土中埋却処分する。

②主要害虫

・ハダニ類、シンクムシ類、ハマキムシ類の発生に注意し、発生状況に合わせて防除する。

③薬剤散布時の留意点

・複数品種混植園では、収穫前及び収穫中の品種や近隣ほ場作物への飛散防止対策を徹底する。
・薬剤の選定は、収穫前日数をよく確認し、安全使用遵守で使用する。

(4) その他

①「幸水」、「豊水」の礼肥施用

収穫終了後、年間施肥量の20%を目安に即効性の肥料を施用する。

※ 施肥は周囲にある収穫前の品種に影響がないように注意して行う。

②台風・長雨対策

台風到来や秋雨前線停滞による暴風、豪雨等を想定し、事前に多目的防災網や棚の点検・補修、明渠排水の設置等を行い、被害防止に努める。

4 長期予報

(1) 1か月予報（9月12日気象庁発表 関東甲信地方9／14～10／13の天候見通し）

○予想される向こう1か月の天候

・天気は数日の周期で変わる。平年と同様に曇りや雨の日が多い。

・各階級の確率

気 温 低 い20% 平年並30% 高 い50%

降 水 量 少ない30% 平年並40% 多 い30%

日照時間 少ない30% 平年並40% 多 い30%

(2) 3か月予報（8月23日気象庁発表 関東甲信地方9～11月の天候見通し）

○予想される向こう3か月の天候

・9 月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い。

・10月 天気は数日の周期で変わる。

・11月 平年と同様に晴れの日が多い。

・各階級の確率

気 温 3か月 低 い20% 平年並30% 高 い50%

9 月 低 い20% 平年並30% 高 い50%

10月 低 い20% 平年並30% 高 い50%

11月 低 い20% 平年並40% 高 い40%

降 水 量 3か月 少ない30% 平年並30% 多 い40%

9 月 少ない30% 平年並30% 多 い40%

10月 少ない30% 平年並30% 多 い40%

11月 少ない30% 平年並40% 多 い30%



気象災害による農業被害を未然に防ぐため、

技術対策情報が 携帯電話等に直接メール配信される

「とちぎ農業防災メール」のご登録をお願いします！

併せて、気象警報・注意報等が直接メール配信される

「栃木県防災メール」のご登録をお願いします！



↑「とちぎ農業防災メール」

登録はコチラから



↑「栃木県防災メール」

仮登録はコチラから